



自主学習＝宿題ではありません

自分から進んで学習することを自主学習と言いますが、学校から決められた課題をやらされる宿題とはまったく別の物です。

小学校低学年のうちは宿題がなければ自分で勉強する方法など、なかなか分からないと思います。だからといって、家庭学習が宿題だけになってはいけません。小学校のうちは授業をちゃんと聞いて、宿題をきちっとやればある程度学力がつくかも知れません。中学校もある程度はそれで通用して、それなりの高校に進学できる人もいるでしょう。

しかし、限界があります。自分は何の目的で勉強するのか、目的のためにどうやって勉強すれば良いのかを自分で考えることが出来ないと本当の学力を高めることが出来ません。逆に目標を持ってその目標を達成するための学習方法を身につけていれば、学力を高めることが出来ます。

そこで、小学校のうちから自分で目標を設定して計画的に学習する方法を学ぶことで、本当の自主学習が出来るようにしていきたいです。 「勉強（やらされる）から学習（みずから学ぶ）へ」

〈コツコツメニュー〉決められた目標まで自分に合った学習計画を立てる

※漢字を例にすると

け 計画	1週間で覚える漢字の学習の方法と計画を自分でたて、家で学習する
テ テスト	学校で1週間分の小テストを行う
ぶ 分析	覚えられなかった漢字はどれか、どうやったら覚えられるか考える
れ 練習	家であらためて漢字の学習を行い、必要な漢字を覚える

〈ワクワクメニュー〉自分が知りたいと思ったことを自由に選んで学習する。

※例えば

め めあて	めあてを立てる	新紙幣の事が知りたい
あ 集める	情報を集めよう	お札の人物の事を調べる
せ 整理する	情報を整理して自分の考えをまとめる	なぜその人物がお札に選ばれたか考える
ふ ふりかえり	感想や新たな疑問、つぎへのめあて	つぎのお札の人物は誰になるだろう

このように、自分で学習する方法や学習する内容を選ぶのです。大切なのは指示されてやらされるのではなく、自分が必要だと考えたことを自主的に学習するということです。

いきなり全部取り組むことはむずかしいと思いますので、授業の中でどうやって自主学習に取り組むかを伝えていきたいと考えています。また、学年や教科に応じて、これまでの宿題とのバランスも考えていきます。子どもたちが意欲を持って学習に取り組むことを目指しています。そして、中学校、高校と進んだときに自分で学習する力がついているようにしたいです。保護者の方には目的を理解し、子どもを応援していただきたいと思っています。

防災→本当にできるものに 「南海トラフ地震による津波到達予測時間、桑名は8 2分」

長島は伊勢湾台風の備え、東北の震災以降は津波の備えに力を入れてきました。津波避難誘導デッキもつくられ施設はどんどん整っています。一方で避難訓練や避難方法は本当に災害が起こったとき動けるようなものになっているか疑問が残る点もあります。この観点から変えていきたいことがあります。

防災計画

「想定外」「予想外」という言葉を聞きます。予想より大きな津波、想定していなかった道路の液状化など予測できないから災害になるのだと思います。あらゆる事を想定して全部に備えておくことは不可能です。

そこで命を守るための必要最小限の計画を立て、いろいろな場面に応用できるよう改良していきます。

意識

だれかが守ってくれる、だれかが助けてくれるという意識から、まずは自分の命は自分で守るという意識に変える必要があります。もちろん幼い児童を放っておくわけではありませんが、歩いて逃げられないといって泣いている児童を全員背負って逃げることは出来ません。

「命より大切なものはない」を合い言葉に、自分の命は自分で守れるようになることです。

避難訓練

・これまでは日時と避難方法を事前に説明して決められたとおりの避難訓練をしていましたが、本当の災害はいつどこでどの程度のものが起こるか分かりません。

そこで昨年は予告なし避難訓練を行いました。まずは1日のどこかで避難指示が入るからそのときは決められた方法で避難する訓練、次に行ったのは1週間のなかのどこかで避難指示が入る、避難方法はそのときに指示するという訓練でした。今後さらに突発的な訓練をしてみたいと考えています。

・今年は遠足を九華公園に学校から歩いて行くことにしています。もともと伊曾島小学校の遠足はそうようにしていたそうです。この遠足には避難訓練の意味もあります。水害時には伊曾島地区は高台に広域避難をするよう考えられています。歩いて九華公園まで歩いて行くことができるという自信をつけておくことで避難方法の選択肢を増やせると考えています。

・避難をするには徒歩が基本です。道路を塞いで緊急車両が通れなくなることを防ぐためです。しかし大雨の時、児童を迎えに来てもらうのに徒歩は非現実的です。

そこで一昨年、実際に大雨が降ったとき車での引き渡しを行いました、車での引き渡し訓練や職員による誘導をしない引き渡しなど、現実的な訓練をしています。

・計画しているわけではありませんが、5年生のキャンプの代わりに学校に避難所として宿泊する体験もおもしろいのではないかと考えています。楽しんで訓練することがあっても良いと思います。

入学式の様子



始業式の様子



伊曾島小学校 HP

